



小さなサイモンが明るく、ユーモアたっぷり、そしてセンチメンタルに描く好作品。試練とは、教会とは、友情とは、生きる使命とは？

「サイモン・バーチ」

評・稲葉 寛夫 (いなば ひろお / 「チア・にっぽん」代表)

以前、ハーベストタイムにて30分の番組や、チア・にっぽんでの記事で紹介し、たくさんの方の反響をいただいた作品です。家族みんなで楽しみながら、生きる使命、神さまの計画等について、考えさせられます。

作品の冒頭、ジム・キャリー演じるジョーはサイモンの墓前で言います。

「親友サイモンのことは忘れられない。彼によって、神さまを知ることになったから。私が信仰を持っているのは、彼のおかげ。彼によって、はつきりと神さまを信じることができました」

●ストーリー

1952年、小さな体で生まれたサイモンは、親友のジョーと共に、自分は社会の中心になりえないアウトサイダーだと思っっています。でも、神さまはそんな自分にも何か特別な使命を与えていると信じています。

ジョーの母、レベッカはそんなサイモンをかわいがり、励まし続けます。しかし、そのレベッカをサイモンが試合中に打った打球が直撃し、レベッカは命を失います。

悲しみにくれるサイモンとジョーは、自分たちはなぜ、何のために生まれてきたのか、アイデンティティーの探求を始めます。

●見どころ

試練とは何か、信仰・神とは何か。クリスチャン・教会とは、偽善・罪とは何か。自分は何のために生きるのか。そして、友情・勇気とは。明るさ、ユーモアも生かしながら、感動をもたらす、深いテーマに迫っていく優れた作品です。家族、みんなで観られる作品で、心から推薦します。

●ご注意

2ヶ所ほど注意点があります。

サイモンが、「女子の同級生の胸を、親友のジョーが触りたいと言ってるよ」とふざけたり、教会のクリスマス劇の途中でサイモンがマリア役の女の子の胸にさわったこと(画面では出ませんが)がきっかけで劇が台無しになってしまう場面があります。歪んだ性というよりは、思春期にありがちな性への憧れが、にこっとうしてしまうように明るく、ユーモラスに描かれたシーンです。

でも、それ自体は、注意すべきことであり、チェックポイントとして書いておきます。そのシーンを逆に用いて、「聖書的な正しい性のあり方」を励ます教材やディスカッションに用いる方法もあるかもしれませんね。そのような注意点もありますが、作品全体としては、泣いたり、笑ったりする内に、人生や信仰の真髄を考えさせられる良き作品です。

●主演のイアン・スミス

主人公のサイモンを演じたイアン・スミス。世界中の約2千人の候補者、2年越しのオーディションが続けられる中に現れました。イアンが通院する病院の看護師

さんたちが、ある作品のオーディションに応募するよう両親を励まし、両親が原作本を読んで納得し、応募しました。それには受け取りませんでした。イアンのビデオテープが、「サイモン・バーチ」制作陣の目に留まり晴れてオーディションが実現したのです。監督・プロデューサーたちは、彼を一目見て「この子がサイモンだ！」と瞬間的にわかり、決定したそうです。見事に好演し、いくつかの賞も受賞

しました。そんなイアン・スミスにインタビューの機会が与えられました。素顔は、とても謙遜で明るく、人なつっこいクリスチャンでした。

「次の作品は？」と聞くと、「今のところ、オフアアが無いので待っている」とのことでした。その後出演していないので、今、どうしているかなーと時々、考えています。でも、この1作品だけでもイアンは、世界中の人に、希望や勇気を与えたと思います。

アシユレー・ジャッド(レベッカ)、オリヴァー・プラット(レベッカの婚約者)らも良い味を出しています。値段も1500円と廉価版が出ていることもお薦め理由の一つです。



1998 米国映画 ムービーガイド賞 最優秀グレース賞受賞

出演◆イアン・スミス他

監督◆マーク・ジョンソン

時間◆114分

DVD販売元◆ウォルト・ディズニー・ジャパン

DVD申し込み先／☎042-318-1807www.cheajapan.com

「いなちゃんのお薦め映画ライブラリー」*FFJでは、お取り扱いしていません。